YWBCH 2026プログラム　2日目:11月15日（日曜日）　※同時通訳あり

8:30-9:30　● D2-1 早期発見

座長:　徳永 えり子
国立病院機構 九州がんセンター

座長:　Jeong Eon Lee
Samsung Medical Center, Korea

D2-1-1「AIチャットボットが切り拓く未来の患者ケア:MAIKOの開発と今後の展望」
演者:　林田 哲
慶應義塾大学医学部

D2-1-2「遺伝的素因への理解:患者および遺伝子保有家族における課題と対応」
演者:　Ellen Warner
University of Toronto, Canada

D2-1-3「若年女性における乳房画像診断のポイント」
演者:　Samantha L. Heller
New York University Grossman School of Medicine, USA

9:30-10:30　● D2-2 若年乳がん患者における早期乳がんの局所療法に関する考察

座長:　髙田 正泰
関西医科大学 乳腺外科学

座長:　Hee Jeong Kim
Asan Medical Center, Korea

D2-2-1「若年早期乳がんの外科治療をめぐる論点:アジアにおける乳房温存術と乳房切除術の選択」
演者:　Cheng-Har Yip
University of Malaya, Malaysia

D2-2-2「若年乳がん患者における乳房切除後乳房再建術」
演者:　Marie Jeanne Vrancken Peeters
Netherlands Cancer Institute / Amsterdam University Medical Center, Netherlands

D2-2-3「若年乳がん患者の放射線治療を考える:長期サバイバーシップ時代における局所療法の最適化」
演者:　佐貫 尚子
慶應義塾大学医学部 放射線科学(治療)

10:30-12:00　★ 特別招聘講演・特別討論会

D2-SL「建築と環境」
座長:　清水 千佳子
国立国際医療センター　乳腺・腫瘍内科診療科

演者:　妹島 和世
プリツカー賞受賞建築家、SANAA共同主宰

D2-WS 特別パネルディスカッション
モデレータ:　清水 千佳子
国立国際医療センター　乳腺・腫瘍内科診療科

パネラー:　妹島 和世
プリツカー賞受賞建築家、SANAA共同主宰

James Aquilina
President and General Manager, Estée Lauder Companies, Japan G.K.

戸井 雅和
がん・感染症センター 都立駒込病院 院長

12:15-13:15　■ ランチョンセミナー 3（共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社）　会場：3301

D2-LS-1「若年女性における転移性乳がん～その特徴と治療戦略～」

座長：有賀 智之
東京科学大学医学部乳腺外科

演者：吉波 哲大
大阪大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科

12:15-13:15　■ ランチョンセミナー 4（共催：JSFP（日本がん・生殖医療学会）　会場：3302

D2-LS-2

座長：高井 泰
埼玉医科大学 日本がん・生殖医療学会（JSFP）理事長

座長：田村 宜子
虎の門病院 日本がん・生殖医療学会（JSFP）診療ガイドライン改訂委員会 委員長

「妊孕性温存のその先へ：若年乳がん患者の妊娠・出産を見据えた支援」
演者1：高井 泰
埼玉医科大学 日本がん・生殖医療学会（JSFP）理事長

日本がん・生殖医療学会の
『乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン 2026年版【第4版】』
演者2：田村 宜子
虎の門病院 日本がん・生殖医療学会（JSFP）診療ガイドライン改訂委員会 委員長

13:30-14:30　● D2-3 進行・再発乳がんを有する若年女性：臨床およびサバイバーシップの課題

座長：大野 真司
相良病院 院長

座長：Ellen Warner（University of Toronto,Canada）

D2-3-1「若年女性の進行乳がんは治癒可能ながんなのか、それとも治癒困難ながんなのか？」
演者：Yoon-Sim Yap
National Cancer Center Singapore, Singapore

D2-3-2「進行・転移性乳がんと共に生きる若年女性の課題：臨床現場の現実とサバイバーシップ支援モデル」
演者：Stacy Lewis
Young Survival Coalition, USA

D2-3-3「経済格差による治療アクセスの課題」
演者：伊藤 ゆり
神戸大学 大学院医学系研究科 未来社会医学専攻/領域 公衆衛生大学院 医療健康政策学

14:30-16:00　● D2-4 患者アドボカシー（患者支援・権利擁護）（共催：株式会社明治安田総合研究所）

座長：桜井 なおみ
キャンサー・サバイバーズ・リクルーティング・プロジェクト

座長：Luis Costa
Hospital de Santa Maria / The Lisbon Academic Medical Centre, Portugal

D2-4-1「がん治療に伴う経済的負担（経済毒性）」
演者：本多 和徳
愛知県がんセンター 薬物療法部

D2-4-2「患者と医療者の協働を目指して：多文化社会におけるコミュニティアドボカシーの再考」
演者：山内 英子
University of Hawai'i Cancer Center, USA

D2-4-3「質の高い腫瘍内科診療へのアクセス、すべての患者に実現できるのか？」
演者：Ashok Kumar Vaid
Medanta Cancer Institute, India

D2-4-4「医療アクセス格差解消に向けた戦略-若年女性における乳がんリスク認識の誤解への対応-」
演者：Rachelle Panitz
SoBrave, Australia

16:00-16:15　★ 閉会の辞

佐治 重衡
学会長／JBCRG代表理事／福島県立医科大学腫瘍内科

16:15-17:00　★ 次回開催地（2027年）発表・記念撮影